

市政を問う

12月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。
なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。



榊島 永二郎

SAGA2024国民スポーツ大会

榊島 国民スポーツ大会の時には、弓道競技・スポーツクライミング競技会場に、仮設の設備等は準備されるのか。

答弁 弓道では、近的・遠的共に観客席を、スポーツクライミングでも多久高校グラウンドに観客席を設置し、両競技共にテントを多数配置する予定です。

榊島 大会では非常に多くのボランティアSTAFFが必要で、そのためには市民の盛り上がりが必要だと思いがその取り組みは。

答弁 大会の認知度の向上、機運醸成を図るために、各種広報や啓発物の配布、また、イベント等を活用し、国スポの魅力を発信していきます。

多久市緑が丘弓道場

榊島 現在までの利用状況と、当初予測していた数の違いはあるか、また交流人口の増加に寄与しているのか。

答弁 利用者数の年間見込みについては、年間約6,000人を見込んでいましたが、11月までの利用実績1万2,600人と、既に約2倍の利用があり、年間1万9,000人を予想しています。

大会の開催状況についても、佐賀県高校総体、九州高等学校弓道新人選手権、佐賀県民スポーツ大会、九州各県対抗弓道大会等、大規模大会も開催され、今年度全体で約20の大会が開催される予定です。

使用料収入についても、当初見込みが年間10万円に対し、11月末で約37万円、年間では55万円を見込んでおり、利用者数、使用料収入ともに見込みを大きく上回る状況です。

市外、県外から多くの選手・役員・応援の方が多久に来られるようになり、交流人口の増加や、一定の経済効果を、非常に実感しています。



田中英行

再犯防止推進計画について

田中 多久市の今までの取り組みは。

答弁 取り組みは、社会を明るくする運動のメッセージ伝達式、市内義務教育学校への訪問、社会を明るくする運動広報活動、保護司会多久支部への補助金支出、佐賀県更生保護協会及び佐賀県BBS連盟への負担金支出を行っています。

田中 今後の課題は。

答弁 今後はより一層、佐賀県をはじめ、保護観察所や保護司会などの関係機関及び民間協力者との連携、また情報共有や啓発活動を密にし当事者が相談や要望をしやすいようにしていきます。

田中 犯罪被害者の方への支援は。

答弁 犯罪被害者の相談窓口を防災安全課に設置し相談体制を取っています。また、庁内の関係各課と連携

農福連携について

田中 福祉事業所の農業従事者の実態は。

答弁 事業者は4事業者あり農業に携わる従事者数は1事業者当たりで10人から20人ほどの方が作業をされています。

田中 今後どのような施策をしているのか。

答弁 農福連携に取り組むことで、障害者の方々の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながるものでもありますので、佐城地区推進協議会を中心に取り組んでいきます。



鷺崎 義彦

農業に係る地域計画の策定について

鷺崎 人・農地プランを法定化し地域計画を策定する狙いは。

答弁 高齢化の進行で小規模な水田農家の方などが離農され、耕作されなくなる農地を、農業を担う者に集積・集約を行い、地域農業を守るのが狙いです。

鷺崎 見込まれる効果は。

答弁 農地の集積・集約や課題解決に向けた取組みなどを行うことで、遊休農地の拡大防止と農地利用の効率化を図ることにより、地域農業の維持・発展が見込まれます。

鷺崎 地域計画策定の手順は。

答弁 まず、農業委員会が将来10年後の農地の受け手が誰になるのかを明らかにした農地の集約状況を示した素案である目標地図を作成し、それを基に地域の現状や課題を踏まえた上で、担い手の集積・集約化に関する



【その他の質問】 ▼イノシシ対策について

る事項などを、地域の担い手である認定農業者や新規認定農業者などを中心とした関係者による協議を行い、令和6年度末までに、地域計画を策定、公表することになります。

鷺崎 地域の皆さんや関係機関に周知情報等も必要と思うが。

答弁 関係機関等への周知については、生産組合長会などの農業団体等の会議の折に周知していきます。